

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|    |                                   |
|----|-----------------------------------|
| 所在 | 東京都多摩市鶴牧 1-26-3<br>NTT 東日本多摩ビル 3F |
| 園名 | キッズサポート多摩第二めぐみクラブ                 |

### 1. 活動のテーマ

#### <テーマ>

- ・ 表現

#### <テーマの設定理由>

- ・ 普段の遊びの中で映画館ごっこやままごとを通して役になりきって表現することを楽しむ子が多く、表現の仕方や方法を子ども達が遊びの中で考え広がって行けるようにするため。

### 2. 活動スケジュール

- ・ 普段のごっこ遊びの中で遊びが広がる方法を子ども達と考え、必要な物（お店屋さんの看板や食べ物、レジ）などを製作していく。
- ・ 図書館へ行き読み聞かせをしてもらったり、自分の好きな絵本を見つけ読んでみたりする。また、好きな話を友だちと共有出来る場を設ける。
- ・ 子ども達の好きな音楽を流したり、ごっこ遊びに合う曲を子ども達と探して流す。
- ・ ハロウィンに向けて自分たちのオリジナル衣装や小道具を製作し、自分たちで製作できる環境を作る。
- ・ 簡単な物語を自分たちで考えた環境設定で演じてみようとする。
- ・ グループごとに劇を見せ意見交換を行う。
- ・ テーマを考え、子ども達が相談しながらストーリーや役（配役や裏方）などを振り分け劇を作りあげる。
- ・ 劇に必要な壁面や小道具、衣装などそれぞれの役が考え、様々な素材を使用しながら製作を行う。
- ・ 図書館で好きな絵本を見つけ沢山の物語に触れ、オリジナルストーリーを製作していく
- ・ 配役を決め、衣装や小道具など子ども達が考えたものを形にしていく。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・普段のごっこ遊びの中で遊びが広がる方法を子ども達と考え、必要な物（お店屋さんの看板や食べ物、レジ）などを製作していく。
- ・図書館へ行き読み聞かせをしてもらったり、自分の好きな絵本を見つけ読んでみたりする。また、好きな話を友だちと共有出来る場を設ける。
- ・子ども達の好きな音楽を流したり、ごっこ遊びに合う曲を子ども達と探して流してみたりした。
- ・ハロウィンに向けて自分たちのオリジナル衣装や小道具を製作し、自分たちで製作できる環境を作る。
- ・簡単な物語を自分たちで考えた環境設定で演じてみようとする。
- ・子ども達を選んだストーリーを劇ごっこを通して表現してみようとする。
- ・意見交換の場を設け、友だちが製作したものがどんなものか感じた事を言葉に出来るようにした。
- ・オリジナルストーリーを考えるための参考になる様図書館へ出かけ沢山の物語に触れる機会を設けた。
- ・劇の配役が決まった際は、グループごとにアイディアを出し合い衣装や小物作りを行った。その際に子ども達から必要な物を聞き素材（カラーテープ・カラーポリ袋・不織布・画用紙等）を用意した。

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・遊びの中でさらに遊びが広がりそうな物（セルフレジや買い物かご、商品）などを子ども達の意見を取り入れながら製作を行っていく。
- ・ままごとやお買い物ごっこを通して役割にわかれて遊んでみる。
- ・図書館へ行き読み聞かせをもらいながら、絵本に触れてみる。図書館へ行き、好きな絵本を選んでみる。
- ・ハロウィンで好きな衣装を作る。簡単に製作できるカラーポリ袋を使用し、好きな衣装（上衣、ズボン、スカート）を製作し、飾り付けを行う。
- ・簡単なストーリーを題材として選びクラスで劇ごっこを楽しんでみる。
- ・劇ごっこを通して劇に必要な物（壁面や小道具、衣装、音響、照明）が何かを知る。
- ・どんな劇をクラスで作りたいか題材を決める。
- ・図書館や好きな絵本を見つけ、オリジナルのストーリーを子ども達と作り上げていく。
- ・劇に必要な物のアイディアやデザインを考えていく。
- ・それぞれの担当に分かれて製作を行う。
- ・時間を見つけ、演じながら劇を取り組んでいった。

#### ＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

- ・元々表現することが好きな子ども達だったため、自分の経験したものから遊びの中で表現して楽しんでいた。特に映画館ごっこではさりげなく紙を用意するとチケットを作り、椅子を並べ、ステージを作りオリジナルの映画館ごっこを発展させて楽しんでいた。ちょっとした衣装を用意するとさらに展開を広げようとする姿もあった。
- ・秋になりハロウィンが近づくと子ども達からハロウィンを楽しむ様子が見られるようになる。衣装作りを提案すると喜ぶ姿が見られた。衣装の土台になるものは保育者が製作し、出来たものにそれぞれが考えたデザインを元に衣装作りを行った。子ども一人一人に作りたいテーマのようなものがあった為、テーマに沿ったものを一緒に調べながらさらに衣装を作りが楽しめるようにした。出来上がった衣装を披露する場がなかった為、他クラスを呼びファッションショーを楽しめる環境を作るようにした。
- ・その後も役になりきって遊ぶ姿があった為、子ども達の興味がさらに広げられるように図書館へ出かけいろいろな物語に出会えるような場を作った。その際に普段は手に取らないような絵本に興味を持ち読んでみようとする姿があったり、友だちと読み聞かせごっこのようにしながら楽しむ姿が見られた。
- ・クラスで簡単な物語で劇ごっこを行うと、「このセリフは〇〇にしたい」や「この役の衣装は赤がいい」、「家は壊れているものは必要だね」など活動に取り組む中で必要な物を自分たちで考え取り組もうとしていた。
- ・出来上がった劇を、他クラスに見学に来てもらう機会を設けると「緊張する」、「上手にセリフが言えるかな？」という声もあったが、終わってみると「楽しかったね」や「またやりたいな」など、表現する楽しさを感じている子が多かった。
- ・その後も図書館に出かけ好きな絵本に触れながら、次の表現活動について子ども達に聞くと「オリジナルの話を作りたい」との意見が出始め、クラスで考えるようにした。その際ストーリーを考えるのが好きな児、衣装や小物作りが得意な児がいた為、役割分担をしながら進めると、自分の得意な物を担当している為次々と意見を言いながら形にしようとする姿があった。意見が衝突することもあったが、保育者が仲介をしながら互いの意見をまとめるようにすると互いに相手の意見や話に耳を傾け新たな意見を作り出すこともあった。子ども達が作り上げようとしていた為、保育者が介入しすぎないように気を付けつつ、困っている時は一緒に考えながら子ども達がどうしたいかが見つけられるようにした。

#### 5. 振り返り

##### ＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・元々表現することが好きな子ども達であったが、表現できる場を設けることによって様々なアイディアを形にしようとする姿見られた。段階ごとに表現する活動を行うようにすると、子ども達もその時々を楽しんでいた。表現することが苦手な児もいたが

友だちの制作している過程を見ながら、イメージを膨らませる姿があった。得意でない事も友だちと一緒に取り組みながら行う事によって、楽しみながら作品作りを行う姿が見られた。その後も廃材遊びなどを通して、感じた事や作りたいものを等を形にする姿が多くみられるようになり、子ども達新しい姿の発見もあった。

・生活の中の事を表現する楽しさを知っていた為、活動を広げていく際も季節の行事や子ども達が楽しみにしているものを中心に取り入れるようにした。生活の中に自然とあるものから活動に入った為スムーズに子ども達も活動の中に入っていき、製作を楽しめていた。急に「〇〇を行う」と活動を行うのではなく、普段の生活の中や行事に触れながら表現活動に取り組めたこととによって子ども達も楽しみながら参加で来ていた。

・衣装や小物作りでは土台を保育者が製作したもののその後の物は子ども達にゆだねるようにした為、子ども達同士で「ここは〇〇の方がいいんじゃないかな？」や「警察官は青色で女の子はスカートがいい」などデザイン画を元に製作し、最後まで妥協せずに楽しみながら製作を楽しんでいた。製作できる時間も用意したり、好きな時間に出来るようにすると集中して取り組んでいた。保育者が計画を立てなくても子どもたちなりに先を見通しながら製作する姿あった。また、クラス全員で一つの物を作り上げたいとの気持ちが一致し、クラスでまとまって作り上げようとしていた。保護者に披露する際は緊張している姿も見せつつも「劇が今まで一番楽しかった」などの言葉があり、子ども達自身も楽しみながら来ていたようだった。

・この活動を通して、子ども達が繰り返し話し合いを行いながらも形にしようとする姿が見られた。苦手と感じる児もいたが、自分なりに出来ることをやってみようとしたり、友だちと一緒に楽しもうとしていた。友だちと一緒に作り上げようとする楽しさを子ども達を通して保育者も感じる事が出来た。

